

鶴見川流域水マスタープラン アクションプラン 登録依頼書

1. 名称	川や水辺空間の有効活用に向けたアクションプラン	登録番号※ 1
2. 目的と内容	<p>目的：水辺ふれあいマネジメントでは、「目標 1：流域の水循環系や自然の理解を促す流域学習を促進する」、「目標 2：多様な資源を活用した流域ツーリズムを推進する」として、河川プロムナード整備の充実や水辺の流域多機能拠点の整備を市民・市民団体、企業、行政の連携・協働によって推進していくことを施策の展開方策の 1 つに掲げており、本アクションプランはこの目標の実現を目指すものである。</p> <p>内容：近年では、「水辺とまちの未来創造プロジェクト」や「かわまちづくり支援制度」などが導入され、「ミズベリング」の取組みが推進されるなど、川や水辺を活かした都市のシンボルとなるような空間を形成する動きが活発となってきている。鶴見川流域においても、既に市民・市民団体による水辺空間の活用が盛んに行われているが、行政と連携・協働することで更なる効果が予想される地点が存在する。また、新駅整備を契機に土地区画整理事業や市街地再開発事業が進んでいる。そこで、川や水辺空間の有効活用を主としたアクションプランを作成し、市民・市民団体と行政が連携・協働することで水辺空間の活用方策を推進していくものとする。</p>	
3. 策定・実行主体	鶴見川流域水協議会（行政） 河川協力団体、水マス推進サポーター、地元活動団体（市民・市民団体）	
4. 対象地域	鶴見川流域（対象地点：6 地点） 上小山田みつやせせらぎ公園（町田市）、鎧橋付近（東京都） 鴨居地区（神奈川県）、綱島地区（京浜河川）、駒岡防災拠点（京浜河川）、 渋川散策路（川崎市）	
5. 主な水マス 該当施策	水辺ふれあいマネジメント 【施策 1】治水・防災・環境学習の場と機会の充実 ・河川や流域の自然環境を活用した学習プログラムやイベントの充実に努める 【施策 5】河川利用施設の整備の充実 ・水辺ふれあい拠点を流域に配置する 等	
6. 実行期間	2020 年 4 月～2025 年 3 月（2020 年度～2024 年度の 5 年間）	
7. モニタリング 指標	① アクションプラン全体の進捗状況の評価指標 ② 地点別の目標の評価指標 上記 2 つの観点からモニタリングを設定する。 ※各地点でのモニタリング指標は、意見交換の場で詳細は協議・決定。	
8. 添付書類	・川や水辺空間の有効活用に向けたアクションプラン 取組み内容	
9. その他・特記 事項	・策定・実行主体は、必要に応じて、地元町内会や企業等の参画も想定している。 ・対象地域は、今後追加・変更することは可能である。	
10. 連絡窓口 公開・非公開※ 2	①組織名 1：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 流域調整課（行政代表） ②住 所：神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 2-18-1 ③連絡先：045-503-4000（代表） ①組織名 2：NPO 法人鶴見川流域ネットワーク事務局（市民・市民団体代表） ②住 所：神奈川県横浜市港北区綱島西 2-19-1 ③連絡先：045-546-4337（代表）	

※ 1：登録番号は事務局にて記載

※ 2：上記項目 1. ～ 9. については公開、10. については公開・非公開の選択可

事務局欄

